

新春対談

次の一本に 向かって

習志野市長

宮本 泰介

千葉ロッテマリーンズ

福浦 和也 選手

平成30年9月22日、日本プロ野球史上52人目となる2000安打を達成した千葉ロッテマリーンズ福浦和也選手。多くの市民に明るい希望を与えていただいた感謝とこれからの活躍への期待を込め、市民栄誉賞を授与しました。今号では宮本市長が福浦選手を迎え、本市での思い出や野球への熱い思いを語ってもらいました。

宮本市長 (以下 宮)

2000安打達成おめでとうございます。2000本目を打った時はどんなお気持ちでしたか。

福浦選手 (以下 福)

もちろんうれしかったです。プレッシャーもあったのでほっとした気持ちもありました。

野球との出会い

宮 野球を始めたきっかけは？

福 父の影響で小学1年生の時に少年野球を始めました。

宮 福浦選手は生まれたのは浦安市ですね。

福 4歳の時に習志野市に引っ越してきて、大久保東幼稚園、大久保東小学校に進みました。幼稚園も小学校も楽しかったのを覚えています。特に、小学生のときはやんちゃでした(笑)。6年生の時には運動会の応援団長をやりました。

宮 私達はだいたい同じ年代ですけども、当時は子どもがすごく多かったですよ。

福 そうですね。子どもの人数も多かったし、昔は習志野市ももっと田舎で、遊ぶところがいっぱいあり、壁当てなどをよくしていました。家の周りに畑もあって、芋堀りなどもしていました。

宮 少年野球チームはあづまクラブでしたね。今は市内のチームは9チームに減ってしまいました。

福 僕らの時は20チームくらいありました。袖ヶ浦ボーイズが強かつ

たのを覚えています。

宮 その後、第二中学校では学校の野球部とクラブチームにも入っていたと伺いました。

福 学校の野球部と東京にあるリトルリーグのチームで硬式野球をやっていました。

宮 驚きました。重さが違う硬式と軟式のボールを投げていて肩は大丈夫でしたか？

福 昔は土曜日も学校があり、硬式ボールを使うのは日曜日だけでしたので負担はそこまでなかったです。

習志野高校へ

宮 そして習志野高校に進学されました。他校からの誘いもあったと思いますが、ご自身で決めたのですか？

福 小学6年生の頃、甲子園に習志野高校の応援に行きました。強くてカッコよかったです。周りの勧めもあって習志野高校に決めました。